

平成30年度県立学校公開講座

『源氏物語講座』受講者募集のお知らせ

今年度も湘南高校において、公開講座「源氏物語講座」を開講いたします。地域の方々とのよき交流の場となればと存じます。形式は源氏物語の原文（古文）を口語訳付きのテキストで気軽に読み、皆で楽しく味わうものです。古文は苦手、あるいは初めての方でも大丈夫です。原文のリズムを味わっていただいた後は、講師が口語訳をしながら丁寧に解説いたします。高校生以上の方ならどなたでも参加できます。テキストはこちらでご用意いたします。お持ちいただくのは鉛筆のみです。古典の名作を気軽に、かつ深く味わっていただけます。原文でなければ伝わらない感覚もあります。じっくり読めば読むほど各自の中に自分の源氏物語ができあがっていくはずです。千年前の古典からしみじみ共感するものを感じ取っていただければと思います。

○内容

13年前他校で桐壺巻を開講以来少しずつ読み進め、昨年若菜下巻までできました。今年もその続きを読み進めますが、途中からでも大丈夫です。これまでの話の展開と問題点を最初に解説いたします。また、ほんの一つ二つの場面でもそこに描かれた人の心の有様をダイナミックに感じ取ることができるはずです。毎年こうして継続なさる方が少しずつ増えてきました。

これまでの概要ですが、この直前の巻で光源氏は40歳となり人生の後半部に入った途端、一転して物語はあたかも人生の現実と不幸を追求するかのように人々の苦悩を描き始めました。これ以降は源氏物語の第二部といわれ、源氏物語が現在でも文学の最高峰にあるのはこの部分があるからです。物語の時点は源氏47歳、若い後妻女三宮を迎えて以来この数年、出家して源氏との離婚を望んでいた紫上がついに緊張の糸が切れたように病に倒れてしまった所です。

今年は、その騒ぎの中、若い男柏木と源氏の妻女三宮の密通が起こる最もドラマチックな場面からです。密通した二人には恋の成就した喜びなどどこにもなく、罪の意識に苛まれるばかり。一方源氏のかつての愛人六条御息所の死霊が現れ紫上を絶命させ、人の心の哀憐執着の恐ろしさをまざまざと見せつけます。源氏、柏木、女三宮の葛藤は苦悩を極め、二人は破滅へと追い込まれていきます。人生の不如意と押し寄せる事件。愛の苦しみの中で人々は自分を保とうとしますが、人の心は耐えきれません。寂しさの中ですがってしまうのは、やはり互いの愛情でしかありません。人生の晩年から最期をどう考えるのか、本当に大切な人生の真実を探するための物語です。

開催日時 7/27(金)、8/2(木)、8/8(水)、8/17(金)、14時～16時30分 全4回

申込み方法 必ず往復葉書に、住所、氏名、電話番号を記入し、「源氏物語講座申込」と書いて、以下までお送りください。先着50名様で締め切らせていただきます。

申込み締切 6/29(金)必着 (先着順ですのでお早めにお申し込みください)

受講料 1,500円。受付後にこちらから郵送します振込用紙にて指定日までに振り込んでいただきます。なお障害者手帳をお持ちの方、高校生（どちらの高校でも可）は無料です。

申込み、問い合わせ先 〒251-0021 藤沢市鵜沼神明5-6-10
神奈川県立湘南高等学校 「源氏物語講座」係
電話：0466-26-4151（代表）
担当 三枝秀彰(教諭)